

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公表番号】特表2002-527058(P2002-527058A)

【公表日】平成14年8月27日(2002.8.27)

【出願番号】特願2000-575991(P2000-575991)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

C 1 2 N 9/00 (2006.01)

C 1 2 N 9/02 (2006.01)

C 1 2 N 9/04 (2006.01)

C 1 2 N 9/10 (2006.01)

C 1 2 N 9/24 (2006.01)

C 1 2 N 9/88 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 5/00 A

C 1 2 N 9/00

C 1 2 N 9/02

C 1 2 N 9/04

C 1 2 N 9/10

C 1 2 N 9/24

C 1 2 N 9/88

C 1 2 N 5/00 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年6月1日(2010.6.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0074

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0074】

上記DNA配列にエンコードされた酵素をコードする遺伝子のノンコーディング領域又はノンコーディング領域に相補的なヌクレオチド配列を遺伝子プロモーター配列及び遺伝子ターミネーション配列とともに含む遺伝子コンストラクトも提供される。ここで使用されるところの「ノンコーディング領域」には、翻訳されないが転写される配列と翻訳された配列又はオープン・リーディング・フレームの5'又は3'側約2000bp以内の転写されない配列との両方を含む。本発明のコンストラクトに有効に利用されうるノンコーディング領域の例にはイントロン及び5'ノンコーディングリーダー配列が含まれる。かかるDNAコンストラクトによる標的植物の形質転換は、例えばNapolliら、Plant Cell 2、279-290、1990;及びde Carvalho Niebelら、Plant Cell 7、347-358、1995によって論じられたのと同様の手法の、コサプレッションのプロセスによる、植物の合成するリグニン量の減少をもたらすことができる。